

教材名	エアホッケー		
部門・学部	肢体不自由部門・小学部		
対象学年	A 部門(小中高等部) B 部門	教科	グループ学習・体育 パラスポーツ
ねらい	・ルールを理解し、友だちと協力して楽しく競い合うことができる。		
使い方 ルール	【準備物】 エアホッケー台、マレット(またはスティック)、パック(空気で浮いて動くコマ)、得点板、得点カード、名前カード、音源、その他のボール(ゴルフボール、テニスボール等)、 【ルール：A 部門用】 ・ホッケー台にパックやその他のボールを広げておく。 ・先攻後攻を決める。 ・スティックでパックや球を突いて、ゴールさせる。 ・音楽が鳴っている間にたくさん得点できたチームが勝ち。 ・点数 パック：3点、その他のボール：1点など 【ルール：B 部門用】 ・ホッケー台の中央にパックを置く。 ・マレット(またはスティック)でパックを打ち、自分のゴールを守りながら相手のゴールを狙う。相手のゴールにパックが入ったら1点。 ・あらかじめ決めた点数(例：7点、10点)に先に到達した人が勝ち。あるいは、制限時間内に多く得点した人が勝ち。		
工夫点	・四方にゴールを作ることによって四方からプレイができる。またはダブルスができる。 ・使用しないゴールは木枠でふさぐことができる。木枠はマグネット式なので、台の脇に装着することで紛失を防止できる。 ・ホッケー台は可動式で、ほとんどの教室で使用可能。 ・パックだけでなく、その他のボールも使用することで、各自のペースでゲームを楽しむことができる。 ・車椅子のまま使用できる。		
効果・改善点	【効果】 ・使用する教具やルールを変えることで、部門を越えて幅広い児童生徒がエアホッケーを楽しむことができる。 【注意点】 ・ゴールの網の目が粗いので、ビー玉だと網目をすり抜けてしまう。また、卓球の球だと軽くて台から飛び出してしまうことがある。		

